

令和4年1月21日

議会報告・意見交換会報告書

代表者	鈴木 照一
記録者	佐藤 孝一
班 員	伊藤 和子
〃	山崎 諭
〃	松田 光也
〃	熊澤 光吏

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和3年11月16日（火）午後7時から午後8時10分	
2 会 場	市立成生公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	2名（男性 2名、女性 名）	
5 報告内容	令和3年度の議会活動状況 6月・9月定例会及び構成替えについて 天童市の議員定数・議員報酬について 議会・議員に対する意見・要望など	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	市民 天童市の政務活動費はどのようになっているのか。 【議員の答弁を受けて】 使途が明確になっており報告も正確に行われているのであれば、政務活動費はもう少し増やしてもいいのではないか。	議員 天童市は一人当たり1ヵ月、13,000円の政務活動費になっており、会派に人数分の1年分を一括で交付されている。無会派の議員にも同じように1年分を一括にて支払っている。使えるものの詳細が決まっており、事務局より事前調査がある。また、領収書を添付した報告書を提出しており、天童市のHPの市議会のページから閲覧できるようになっている。

<p>市民</p> <p>人口に対しての議員数などはどうなっているのか。</p>	<p>議員</p> <p>5万人未満では17から18人、5万～10万人では20名前後となっている。</p> <p>近隣の市では東根18人寒河江16人村山16人となっている。</p> <p>本市では昭和62年に30人から26人に減、平成19年に26人から現在の22人になっている。</p>
<p>市民</p> <p>会派についてなぜ必要なのか理由がわからない。</p> <p>請願などでは会派の弊害があるのではないか。</p>	<p>議員</p> <p>天童市では会派制を取り入れて運営している。</p> <p>それぞれの議員は地域から選ばれるなどバックボーンが違うので、22人の議員で意見調整する時にまとまりがつかなくなる恐れが懸念される。</p> <p>会派内でそれぞれが抱える課題を、意見交換しながら考え方を理解しあうことにより、より良い方向に進んでいくという考え方もあると理解していただきたい。</p>
<p>市民</p> <p>議員活動の内容が市民に伝わっていないのではないか。伝える努力をお願いしたい。</p>	<p>議員</p> <p>議員の報告は議会だよりなどで活動の一部は報告してあるが、あまり伝わっていないと感じている。</p> <p>もっと情報発信をしていくように努力していく。</p>
<p>市民</p> <p>定数について、議員の数が多いのではないかという話になっている。定数を減らしてもしっかりと仕事をしてほしい。報酬に関してはしっかりと仕事をしていただければ上げてもいいのでは。</p>	<p>議員</p> <p>議員は様々な多様性をもって出てきている。多くの声を伝えるには議員の数は多いほうが良いと考えている。</p> <p>議員定数・議員報酬検討特別委員会では議員定数は削減、議員報酬は増額で進んでいる。議員報酬に関しては市長が諮問して開催される特別職の報酬審議会により決定されるので</p>

		議会では議員定数・議員報酬検討特別委員会での決定を提案するようになる。
市民	地域の声を拾ってほしい。要望に対してのフォローバックアップの活動をしっかりとしてほしい。毎年同じような要望を市執行部に出しているが進捗があまりないようだ。	議員 市民のいろいろな声を市の執行部に伝えなければいけない。地方議会は市民のために努力するものだ。今後もしっかりと取り組んでいく。
市民	若い人の意見を聴く場を持ったらどうか。若い人達は議会に関心がないと思う。若い人に議員になってほしいが、そのための環境整備も必要なのではないか。	議員 地方議会として、活躍していく若い人を育てなければいけないと感じている。地域の代表として地域の声を反映できる人を出すためにも報酬等も含めた環境整備は必要と考えている。
市民	議員活動の様々なテーマについてのアンケート調査などできないものか。	議員 貴重なご意見ありがとうございました。アンケート調査ができるように考えていきたいと思います。
市民	再生エネルギーが話題になっている市ではどのような動きがあるのか。	議員 カーボンニュートラルに向けた計画は現在進行している。 (調査結果) 今年度、第三次天童市環境基本計画を策定する。本計画は、国が目指している「2050年カーボンニュートラル」を踏まえた内容となる。 本市としては、第三次計画策定に合わせて、今年度中にゼロカーボンシティの表明を予定しており、今後、再生エネルギーの導入を含む脱炭素化に向けた取り組みに力を入れていく考えである。

	<p>市民 山口西工業団地の地下水利用について。</p>	<p>議員 深度がどれくらいの水脈から取水するのかを注視している。また、水質に関してもカクレトミヨのみならず現在生息している水生生物が活動できる環境を守っていけるよう要望している。説明会の要望があれば対応できるように議会として働きかける。 今年、議会に地下水の汲み上げによる下流域での水位の変化はないとの調査結果の報告を受けている。水位の変化は地震等による地殻の変化によるものであるということです。</p>
<p>7 所 感</p>	<p>積極的な参加動員を依頼しなかったこともあり、参加者は2名となったが、充実した意見交換ができたのではないだろうか。会場、時間、曜日等の見直しをすべきだろう。</p>	